

# 1.30デッチ上げ「再建千葉地本大会」を粉碎！

日刊  
**動労千葉**

81.2.1

全国版  
No. 76

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（電話）二九三五〜六（公電）四三三二七二〇七

## 二月二七日、唯一のたのみ綱「銚子支部」(本部)業務再開が、支部大会で否決され、大破産。

全国の動労組合員のみなさん。

動労千葉一三〇〇組合員の怒りにもえた一月総決起行動の爆発は、動労「本部」革マル反動分子が国家権力・当局のひ護のもとに画策した、銚子支部「業務再開」一・三〇「千葉地本再建」デッチ上げ大会をことごとく粉碎し勝利したことを報告します。動労千葉は、この一月総決起行動勝利の確信も高く、組織破壊粉碎・三月ジェット燃料貨車輸送延長阻止ストライキ闘争へ、密集せる反動を乗り越え闘い抜きます。全国の動労組合員のみなさん。三月ジェット闘争を労農連帯の更なる前進と、「本部」革マル反動分子追放！動労大改革・日本労働運動の戦闘的転換をかけて共に決起しようではありませんか。

### 銚子は、動労「本部」につかないと臨時支部大会で決定

「本部」革マル反動分子は、「銚子の「再建」なくして千葉地本「再建」はありえない」として、この間あらゆるデマとベテンを使って銚子支部の分裂・介入策動を繰り返してきました。

その最たるものが、昨年十二月二三日、銚子内一部執行部をベテンにかけて執行委員会を無理矢理開かせ、従来までの銚子支部大会決定事項をくつがえす、「動労銚子支部業務再開」を強行採決させ、同時に「この業務再開決定に従えない者は脱退届を出せ」とまで決定させたのであります。

このあまりにも組合民主主義を否定したファッショ的暴挙に対し、銚子支部のすべての組合員は怒り、支部臨時大会の開催を要求し、一月二七日臨時大会開催を実現したのであります。

臨時大会では、「業務再開」に怒りと批判の意見が集中し、満場一致「業務再開」は否決され、動労「本部」にはつかないことを決定したのであります。

こうして、銚子支部組合員の決起と、それを支える動労千葉全組合員によるオルグによって、「本部」革マル反動分子千葉「再建」の最後の頼みの綱であった銚子支部デッチ上げ「再建」を木っ端みじんに粉碎したのであります。

### 機動隊・放水車に守られた「再建千葉地本大会」を粉碎

銚子支部「業務再開」を粉碎し意気あがる動労

千葉は、「本部」革マル反動分子が予定した千葉市福祉センターにおける一・三〇デッチ上げ「再建千葉地本大会」をも青年部一五〇名の動員をもって粉碎しました。

この日、「本部」反動分子は、一・二七銚子支部臨時大会決定（「業務再開」否決）に動揺し、破産のとりつくろいと、動労千葉破壊「八一・三」ジェット延長阻止ストつぶしを唯一目的にした「再建大会」を画策したのであります。しかもこの反階級的目的の実現のために、なんとおぞましいこととに、国家権力・千葉中央署に会場（福祉センター）の警備を要請し、五〇〇名の機動隊と会場正出入口を装甲車・放水車に守られて強行しようとしたのです。

常日頃「権力の謀略」に階級的警戒心を等と叫ぶ「本部」革マル反動分子のこの日とった行動こそ、彼らの反階級の本性をあますところなく自己暴露したといえます。

結局「大会」なるものは、動労千葉の怒りの決起によって福祉センターで開催することができなかつたのです。その証拠には「再建大会」開催時間になっても一人も集まらなかつたではないか。動員された七〇〇名の動労組合員は、何がどうなっているのかまったくわからず、スゴスゴと帰路についたのであります。

全国の動労組合員のみなさん。  
動労千葉は、一・二四ジェット延長阻止総決起集会の三四〇〇名の結集と圧倒的成功、一・二五全国労働者集会の労組代表三〇〇名の結集をもちとり、一・二七銚子、一・三〇「再建」大会粉碎の勝利の確信高く三月決戦へ前進します。共にスクラム組み動労大改革を闘いとりましょう。

